

1. 授業の基本情報・概要

(1) 授業の目的

小学校の教員免許状取得に必要な科目であり，小学校社会科の内容構成，授業構成，学習指導，評価について理解すると共に，学習指導案の立案を行いながら授業を創造，改善していくことができる力を身に付ける。

(2) 教育学部のディプロマ・ポリシー

教育と教職に関する確かな知識と，得意とする分野の専門的知識を修得している。（知識・理解）

教師としての使命感や責任感を持ち，自己の課題を明確にして理論と実践とを結びつけた主体的な学習ができ，自主的に社会に貢献しようとする。（関心・意欲・態度）

(3) 授業概要

前半では，社会科教育の視点から社会科教師に求められる資質や能力，新しい学習指導要領の内容を解説し，これまでの理論的な研究成果を踏まえた社会科授業の原理について考察する。中盤では，愛媛県における社会科教育の現状と課題を実地指導講師（小学校教員を予定）の講義を通して学習する。また，社会科授業の実践上の課題や授業作りのポイントを教育現場の視点から検証し，教材研究や授業実践に生かすことができるようにする。後半では，理論的・実践的な立場を総括しながら，学生が主体的に教材研究や学習指導案づくりに取り組むことで，よりよい社会科授業を構想し，授業展開ができるようにする。

2回生を対象とした講義で，教育学部140人，大学院教育学研究科2人，合計142人の受講であった。

2. 授業評価・授業研究の内容

DP対応調査を受講者142人に依頼し実施した。回答は93人であった。

DP1 教育に関する確かな知識

対応 37人 どちらかという対応 51人
あまり対応していない 5人

DP1 得意とする分野の専門的知識

対応 21人 どちらかという対応 57人
あまり対応していない 13人 無関係 2人

DP2 現代の様々な教育課題

対応 27人 どちらかという対応 61人
あまり対応していない 4人 無関係 1人

DP2 現代の教育課題への対応

対応 22人 どちらかという対応 58人
あまり対応していない 9人 無関係 4人

DP3 教育活動に取り組むための技能

対応 24人 どちらかという対応 51人
あまり対応していない 15人 無関係 3人

DP3 教育活動に取り組むための表現力

対応 16人 どちらかという対応 54人
あまり対応していない 15人 無関係 8人

DP4 自己学習の明確化

対応 22人 どちらかという対応 59人
あまり対応していない 12人

DP4 理論と実践を結ぶ主体的な学習

対応 17人 どちらかという対応 58人
あまり対応していない 8人 無関係 10人

DP5 専門職業人としての使命／責任感

対応 21人 どちらかという対応 61人
あまり対応していない 8人 無関係 3人

DP5 多世代にわたる対人関係形成能力

対応 12人 どちらかという対応 46人
あまり対応していない 18人 無関係 17人

3. 「授業時間外学習の促進」について

授業時間外学習（課題）

0～1時間 75人

1時間程度 17人 2時間程度 1人

授業時間外学習（自発）

0～1時間 85人 1時間程度 8人

自発的読書

0冊 82人 1冊 6人 2冊 5人

身近な地域のことを調べる活動を指示した。

3. 総括

設定したDPについては，対応しているとの認識を受けた。地域を題材やフィールドとした自発的学習を促すようにしていきたい。